文化・スポーツ基本構想（案）【概要版】

1 基本理念

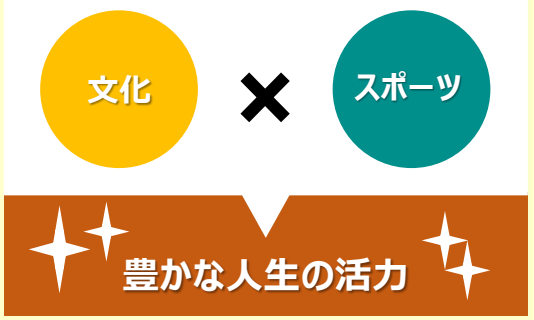
スポーツだって、文化活動だって、
自分のやりたいことには、
だれでも、
なんでもチャレンジできる。

文化やスポーツに取り組むことは、心身の健康に寄与することに加え、社会的なつながりも促進されます。異なる価値観を持つ人々が集うことで、地域の多様性もすすんでいきます。

本区の目指す「ともに生きるまち」の実現に向けて、だれもが気軽に文化とスポーツに親しめる環境づくりを、より一層すすめていきます。

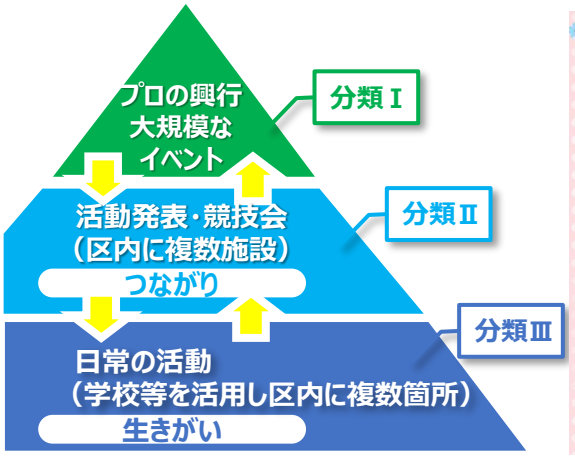
2 取り組みの方針

「する」「みる」「ささえる」という３つの側面から施策を展開していきます。それぞれの側面が相互に作用しあい、各施策の効果を最大限に高める好循環が期待されます。



文化とスポーツという２つの価値を同時に提供することで、参加者一人ひとりが持つ可能性が広がり、精神面・身体面ともに、より充実することが期待できます。さまざまな場面において、文化とスポーツの融合をすすめていきます。

3 施設整備の考え方



- 区内を北部・中部・南部に分け、地域特性を活かした施設整備を行っていきます。
- 施設整備にあたっては、民間投資も模索していきます。

4 地区毎に必要となる機能

北部	歴史あるまちづくりを活かした施設整備	ホール（1,500席程度）、ホール（500席程度）、図書館統括機能、屋内アリーナ
中部	新庁舎や複合施設に合わせた施設整備	コンベンション機能、アイススケートリンク、文化複合施設、共生型スポーツ複合施設
南部	広い土地も活用した文化・スポーツ施設整備	屋内アリーナ、球技場、野球場、共生型陸上競技場、文学館、ホール（500席程度）

区内各地：学校等を活用した文化・スポーツ拠点、コミュニティ機能、図書館機能、各種屋外スポーツ機能

ともに、生きる。
江戸川区